

## 標準委員会 第46回基盤応用・廃炉技術専門部会議事録

1. 日時 2020年1月28日（火） 13:30～14:55

2. 場所 5東洋海事ビル A+B会議室

3. 出席者（敬称略）

（出席委員）萩原部会長，石川副部会長，湊幹事，石川，坂本，佐田，田中（健），田中（正），張，日比，藤井，増田，松本，宮坂，山路（審議案件終了後の退席），山本，吉田（17名）

（代理委員）紅谷 英祐（関西電力／野依代理）（1名）

（欠席委員）北島（1名）

（説明者）【放出源の有効高さ評価分科会】藤井幹事，【基盤応用・廃炉技術専門部会】湊幹事（延べ2名）

（事務局） 田老，谷井，牧野（3名）

4. 配付資料

ATC46-0 第46回基盤応用・廃炉技術専門部会議事次第（案）

ATC46-1 第45回基盤応用・廃炉技術専門部会議事録（案）

ATC46-2 人事について

ATC46-3 “発電用原子炉施設の安全解析における放出源の有効高さを求めるための風洞実験実施基準：2017” 転載許諾対応について

ATC46-4 基盤応用・廃炉技術専門部会 標準策定5カ年計画（2020年度版案）

ATC46-5 現行標準の分類の検証と体系化の検討結果について（情報提供）

ATC46-6 現行標準の分類の検証と体系化の検討について（依頼）

ATC46-7 分科会活動状況

ATC46-8 専門部会・分科会運営ガイドライン：20XX（案）

参考資料

ATC46-参考1 基盤応用・廃炉技術専門部会委員名簿（案）

ATC46-参考2 基盤応用・廃炉技術専門部会出席実績

5. 議事内容

事務局から開始時点で委員19名中，18名の出席があり，委員会成立に必要な委員数（13名以上）を満足している旨，報告があった。

（1）前回議事録の確認（ATC46-1）

前回議事録（案）について配付された内容で承認された。

（2）人事について（ATC46-2）

事務局からATC46-2に基づき，専門部会及び分科会の人事について以下の提案があり，分科会の委員退任等が確認され，審議の結果，審議の結果，専門部会委員の再任等が決議された。

【専門部会】

1. 決議事項

(1) 委員再任

石川 智之	伊藤忠テクノソリューションズ	2020.05～2022.04
張 承賢	東京大学	2020.05～2022.04

【分科会】

○放出源の有効高さ評価分科会

1. 承認決議事項

(1) 委員選任

井上 実	日本気象協会
小野 浩己	電力中央研究所
田伏 薫彦	関西電力

2. 確認事項

(1) 委員退任

筑紫 文夫	日本気象協会	2019.12.23
野田 満靖	関西電力	2019.12.23

(2) 常時参加者登録承認

笠川 翔平	日本原子力発電
佐々木 岳	三菱重工業

(3) 主査選任

近藤 裕昭	日本気象協会
-------	--------

(3) 報告・審議

1) 【報告・審議】 (ATC45-3)

“発電用原子炉施設の安全解析における放出源の有効高さを求めるための風洞実験実施基準：2017” 転載許諾対応について

(担当：放出源の有効高さ評価分科会 藤井幹事)

放出源の有効高さ評価分科会 藤井幹事からATC46-3に基づき，“発電用原子炉施設の安全解析における放出源の有効高さを求めるための風洞実験実施基準：2017” 転載許諾対応について説明があり，審議の結果，出展の記載，引用漏れの追記は編集上の修正であること，及び今回頂いたコメントを反映し，次回標準委員会で報告することが決議された。

主な質疑は以下。

Q： 転載許諾条件の記載箇所を統一すると言うが，どこに記載するのか。

A： 全て転載図の下に記載する。

C： 転載許諾条件の記載箇所については，キャプションの前・後どちらにするか，以前議論となり決めたはず。事務局にて確認し指示に従うこと。

2) 【審議】 (ATC46-4)

標準策定5か年計画の更新について

(担当：基盤応用・廃炉技術専門部会 湊幹事)

基盤応用・廃炉技術専門部会 湊幹事からATC46-4に基づき，標準策定5か年計画の更新について説明があり，審議の結果，基本的に本案の枠組みをベースに各分科会からの追記を三役で確認し，次回標準委員会で報告することが決議された。

主な質疑は以下。

Q： 廃止措置関連の未了案件はどのように解決されるのか。

A： 廃止措置の実施については当面改訂しない方針としている。耐震安全については、改

訂しないもののそのまま保持する。研究炉、核燃取扱施設の計画については実用炉の改訂を受けて検討する。

C：新知見については、コンクリートの材料組成の標準の検討を実施中なので検討を進める。

### 3) 【審議】 (ATC46-5)

学協会規格高度化WG報告書(案)が挙げる論点への対応の検討結果について

(担当：基盤応用・廃炉技術専門部会 湊幹事)

基盤応用・廃炉技術専門部会 湊幹事からATC46-5に基づき、“学協会規格高度化WG報告書(案)が挙げる論点への対応の検討結果について”説明があり、当専門部会関係の論点内容について、標準策定5か年計画と照らし合せ、対応案を作成するようお願いがあった。

主な質疑は以下。

C：分科会の活動内容の中で該当する部分は検討を進めていただきたい。規制庁とのかかわりについては、常時参加者、傍聴者等の参画方法やそのための音声情報の提出など学協会全体として対応していく。

### 4) 【審議】 (ATC46-5)

現行標準の分類の検証と体系化の検討について

(担当：基盤応用・廃炉技術専門部会 湊幹事)

基盤応用・廃炉技術専門部会 湊幹事からATC46-6に基づき、“現行標準の分類の検証と体系化の検討について”説明があり、当専門部会関係の標準の分類の可否について確認するようお願いがあった。

主な質疑は以下。

C：標準5ヶ年計画で定義された標準の分類と対比して、記載を正確化する。

### 5) 【報告】

分科会の活動状況について (ATC46-7)

各分科会の代表者からATC46-7に基づき、分科会の活動状況について報告があった。

(担当：放射線遮蔽分科会：坂本主査，シミュレーションの信頼性分科会：田中幹事，放出源の有効高さ評価分科会：藤井幹事)

“放射線遮蔽分科会”

- ・坂本より遮蔽材料標準作業会での作業状況、原子力学会春の年会及び国際会議での発表予定が報告された。また、放射線工学部会主催、当部会の廃止措置分科会及び放射線遮蔽分科会共催の「放射線遮蔽設計法に係るワークショップ第3回」の開催が報告された。

主な質疑は以下。

C：萩原部会長より、英語版標準書において数値データを含めて修正がある場合には部会等で十分審議を進めるので、修正箇所を的確に連絡する旨の発言があった。

“廃止措置分科会”

- ・田中幹事から廃止措置分科会の作業状況、標準委員会への報告の予定について説明された。

主な質疑は以下。

Q：標準委員会への報告はどのようなスケジュールで行われるか。

A：安全原則と計画標準について次々回の標準委員会で報告する予定。

C：安全評価についてはそれに続けて検討を進めている。

“シミュレーションの信頼性分科会”

- ・資料に基づき、前回からの進捗として、ガイドラインの英訳版発行への対応と最終確認を実施して出版を待つ状態にあることを説明した。また、5ヶ年計画の改定に対応した旨、報告した。

“放出源の有効高さ評価分科会”

- ・分科会活動を休止していたが、昨年12月23日に会合を開き活動を再開した。
- ・当日の活動内容は、委員交代に係る選任・退任手続き並びに主査の選任、風洞実験実施基準の転載許諾対応及び数値モデル計算実施基準の改正に向けた分科会活動について打合せを行った。数値モデル計算実施基準の2021年度改正発行に向けて、今後分科会活動を定期的に変更していく予定である。

6) 【その他】 (ATC45-8)

事務局から ATC46-8 に基づき、“専門部会・分科会運営ガイドライン：20XX” 制定について紹介があり、これについてのコメント依頼を近く実施することが報告された。また、萩原部会長から、各分科会も含めコメントがあれば、専門部会三役に連絡するようお願いがあった。

6. 今後の予定

次回は、2020年5月22日（金）13時30分から予定。（後日、2020年7月31日（金）9時30分から開催することに変更になった。）

以 上